

プレスリリース

## 再生可能エネルギーは強靱で公平な回復を支えることができる

*IRENA 初の「世界の再生可能エネルギーの展望」では、エネルギーシステムの脱炭素化により、短期的な回復を支え、かつ強靱で包括的な経済及び社会を創出できることが示されています。*

アラブ首長国連邦、アブダビ発（2020年4月20日）－国際再生可能エネルギー機関（International Renewable Energy Agency、IRENA）が今日発表した「[世界の再生可能エネルギーの展望](#)」初版では、再生可能エネルギー利用を主体とするエネルギー転換をより一層進めることは、気候変動目標を達成すると同時に、経済の成長、数百万人の雇用の創出、厚生向上を図ることのできる機会であることが示されています。

再エネ展望によれば、より大規模な脱炭素化をすすめるには、最大で合計 130 兆米ドルのエネルギー投資を要しますが、それによる社会経済的な便益は極めて大きなものになります。エネルギーシステムの転換は、現状のまま推移した場合と比較し、現在から 2050 年までの世界の累積 GDP を 98 兆米ドル押し上げます。再生可能エネルギーの分野での雇用は 4200 万人まで 4 倍の増加が見込まれるほか、エネルギー効率の改善及びシステム調整力での雇用はそれぞれ増加は 2100 万人、1500 万人に増加します。

IRENA 事務局長の Francesco La Camera は次のように述べています：「各国政府は大型の経済刺激策及び回復策を導入しつつ、コロナウイルス危機を抑制するという困難な課題に直面しています。今回の危機は既存のシステムの根深い脆弱性をさらけ出しています。IRENA の再エネ展望は、短期的な回復に向けた取組をパリ協定や国連持続可能な開発アジェンダの掲げる中長期的な目標を踏まえたものとするにより、より持続可能で、公平かつ回復力のある経済を構築する方策を示しています。」

「再生可能エネルギーの利用を加速させ、エネルギー転換を広義の回復努力の中心に組み入れることによって、各国政府は、誰もが取り残されない回復力の強い将来の構築に向けた経済及び社会の多面的な目標を達成できます。」

再エネ展望では、エネルギーシステムの構成要素を詳しく検証するとともに、エネルギー転換に必要な投資戦略や政策の枠組みについて解説しています。また、世界の二酸化炭素排出量を 2050 年までに少なくとも 70%削減する方策を検討しています。さらに、より大規模な脱炭素化に向けた見通しとして、排出量の正味ゼロ及び完全なゼロに向けた道筋を新たに示しています。グリーン水素及びエンドユース部門の電化の拡大をはじめ、5つの主要な技術的対策は、重工業等脱炭素化が困難な業界において化石燃料を代替し、排出量の削減に寄与することが期待されています。

加えて、低炭素社会への投資は、健康や環境における外部負経済の軽減を加味すると、投資額の 8 倍に相当する費用節減効果が得られることを示しています。気候変動リスクの少ない道筋を達成するには 2050 年までに累計で 110 兆米ドルに上るエネルギー投資が必要となりますが、完全なカーボンニュートラルを達成するには、さらに 20 兆米ドルの追加投資が必要となります。

再エネ展望においては、世界の 10 地域でのエネルギー及び社会経済の転換の道筋についても検証しています。道筋は様々ですが、全ての地域で再生可能エネルギーの利用割合が高くなり、東南アジア、南米、欧州連合、サハラ以南アフリカでは、2050 年までに全エネルギー利用の 70~80%に達するとみられます。同様に、暖房や運輸などのエンドユース部門での電化は全ての地域で増加し、東アジア、北米、ヨーロッパの多くの国で 50%を越えるとみられます。全ての地域において、人々の厚生は大幅に向上し、エネルギー業界での雇用は化石燃料分野での減少にも関わらず全体で増大します。しかし、経済全体を見渡すと、地域での雇用の増大は均一なものとはなりません。GDP 成長については、地域毎の大きな差異は生じますが、多くの地域で成長が見込めます。

地域及び国レベルでの野心目標のかさ上げは、相互に関連するエネルギーと気候に関する目標を達成し、ひいては社会経済的な便益を享受するために極めて重要です。国際レベル、地域レベル、地方レベルでのより強力な連携はそれぞれ同様に重要であり、財政支援は最も脆弱な国や地域社会等、それを必要とするところに振り向けなければなりません。クリーンエネルギーの利用を推進し、クリーン投資を動員するために設立された気候投資プラットフォームのパートナーとして、IRENA では、投資環境を整備するとともに、再生可能エネルギーへの投資を促進する各国の取組を支援するため、協調的な活動を推進していく予定です。

[「世界の再生可能エネルギーの展望」の全文](#)  
[「気候投資プラットフォーム」についての情報](#)

###

###

## 国際再生可能エネルギー機関 (IRENA) について

IRENA は持続可能なエネルギーの将来に向けて移行しようとする国を支援する国際的な政府間組織で、国際協力の主要なプラットフォーム、研究拠点、再生可能エネルギーに関する政策、技術、リソース、経済に関する知識の集積所として機能しています。IRENA は現在加盟国数 161 (160 ヶ国と欧州連合) と加盟過程 22 ヶ国をかかえ、あらゆる形の再生可能エネルギーの普及と持続可能な使用を推進しており、持続可能な開発、エネルギーへのアクセス、エネルギーのセキュリティ、低炭素経済の成長と繁栄を追求しています。

お問い合わせ先：

IRENA: Nicole Bockstaller, Communication Officer, +971 56 681 69 46, [nbockstaller@irena.org](mailto:nbockstaller@irena.org)  
SNS : <https://twitter.com/irena>、[www.facebook.com/irena.org](http://www.facebook.com/irena.org)、  
[www.linkedin.com/company/irena](http://www.linkedin.com/company/irena)